



出発前に

STEP 1.

まずは知ろう、世界自然遺産の価値。

奄美大島

面積約71,200haのうち、
世界自然遺産登録面積11,640ha

徳之島

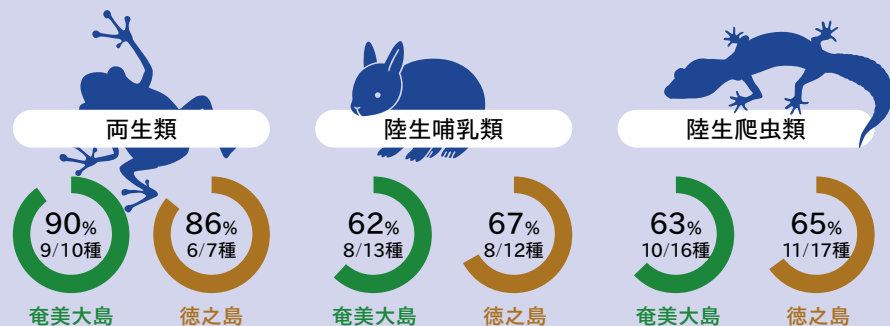
面積約24,800haのうち、
世界自然遺産登録面積2,515ha



奄美群島の奄美大島と徳之島は、アマミノクロウサギなどの絶滅危惧種を含む動植物の生息・生育地です。国際的にも希少な種を含む多様な生物が見られることが評価されました。

奄美大島と徳之島の面積は、2島合わせても日本全体の0.26%程度ですが、奄美群島の成り立ちを反映した独自の進化を背景に、世界でもここで見られない固有種を含む、多彩な動植物が生息・生育しています。

【奄美大島と徳之島の固有種数と固有種率】 ※世界遺産一覧表記載推薦書より



STEP 2.

登録から5年。島の“いま”を聞く。

奄美大島では、2024年にマンガースの根絶を達成しました。世界自然遺産登録前から続けてきたノネコ対策などの取り組みが実を結び、アマミノクロウサギなど希少種の個体数が回復してきて、大変喜ばしいです。一方で、森になお残るノネコをはじめ、対策が未着手のノヤギなど課題は山積しています。今後は遺産エリアに加え、集落など周辺地域を含めた島全体で、生き物と共生できる環境づくりを進めることが次のステージだと考えます。生物多様性が凝縮された豊かな自然を、みんなで守る意識を育んでいきたいです。

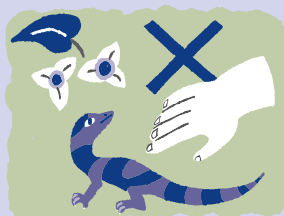
5TH ANNIVERSARY
INTERVIEW



環境省 奄美群島国立公園
管理事務所 所長
広野 行男さん

STEP 3.

自然を守りながら楽しむためのルール。



生き物は
持ち込まない・
持ち出さない



車は
ゆっくり
走行を



危険生物に
ご注意!

特集

世界自然遺産の森を訪ねて——奄美・徳之島の海とともに。

世界自然遺産登録5周年

5th Anniversary of World Natural Heritage Registration

Amami - Oshima and Tokunoshima

奄 美大島と徳之島は、太古から続く亜熱帯の森が広がり、アマミノクロウサギをはじめとする多くの固有種が息づいています。サンゴ礁の海豊かな森、そして自然とともに暮らしてきた人々の営み。これらが重なり合い、この地ならではのかけがえのない価値を育んできました。

こうした価値が評価され、2021年7月、奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島はユネスコ世界自然遺産に登録。今年で5周年を迎えます。

今回の特集では、鹿児島県の奄美大島と徳之島を中心に、登録から5年の歩みと島の今、そして世界に誇る自然の魅力をご紹介します。ぜひ現地を訪れ、この地に息づく世界自然遺産の価値を体感し、未来へつないでいくきっかけにしてみてください。

